

ニカラグア定期報告（2026年2月）

【要旨】

内政面では、国会で国際機関融資によるインフラ整備が承認された。外交面では、査証制度の改正が行われた。経済面では、2025年の経済成長率は4.8%となった。

【主な出来事】

1 内政

（1）インフラ整備向け融資を承認

2月24日、国会は、OPEC国際開発基金との間で締結された2,500万ドルの融資契約および中米経済統合銀行（BCIE）との間で締結された9,700万ドルの融資契約を承認した。OPEC国際開発基金による融資では幹線道路建設（全長4.4km）が、BCIEによる融資では道路建設（全長12.02km）及び道路拡張（全長11.67km）が予定されている。

2 外交

（1）ニカラグア、国連パレスチナ委員会副議長に再選

2月3日、国連パレスチナ委員会副議長にニカラグアが再選した。ニカラグアは、2013年から副議長を務めており、ハイメ・エルミダ・カスティージョ・ニカラグア代表は、パレスチナの自決権と1967年の国境内での主権国家の創設、難民の帰還に向けた支持を再確認した。

（2）キューバ査証免除措置の廃止

2月8日、キューバ人に対する査証免除措置が廃止され、キューバ人はニカラグア入国に際して査証取得が必要となった。

（3）ニカラグア、69か国を査証免除対象、128か国を査証対象国に指定

2月14日、ニカラグア内務省は、査証免除を認める69か国のリスト及び査証対象となる128か国のリストを公表した。査証免除国には主に欧米、ロシア、中南米諸国等が含まれ、査証対象国には主に中国（香港を除く）、イラン、ベネズエラ、キューバ等が査証対象国として含まれる。同措置は、同月16日より施行された。

3 経済

（1）基礎的バスケットが21,000コルドバを超過

2月17日、情報開発庁（INIDE）は、基礎的バスケットが1月に大きく上昇し、21,000コルドバの水準を超えたと発表した。前月から428コルドバ、前年同月から855コルドバの上昇となった。

注：基礎的バスケット（Canasta Básica）：1世帯（6名）が最低限の生活を維持するのに必要な1か月の最低限生活必需基礎品目（計53品目、うち食料品23品目、生活用品15品目、衣料品15品目）の総額を、各月の物価に照らし合わせ算出したもの。

（2）1月のインフレ率が前年同月に比べ上昇

2月18日、情報開発庁（INIDE）は、2026年1月のインフレ率は+0.49%となり、前年同月の+0.17%を上回ったと発表した。主な分野別では、食品及び飲料：+1.21%、財及びサービス：+0.58%、レストランおよびホテル：+0.25%であった。

（3）Moody'sが長期格付けを発表

ア 2月24日、Moody'sは、ニカラグアの長期格付け（外貨建て及び自国通貨建て）を発表し、米国による制裁が、同国経済の安定に重要な郷里送金及び輸出入に影響を与えるリスクを理由にB2に据え置いた。

イ 他方、マクロ経済指標や財政状況が比較的安定していることを評価した。また、経常収支の黒字および外貨準備高の蓄積は、対外ショックへの耐性を強化しているとして評価した。

（4）2025年経済成長率（4.8%）

2月26日、中央銀行は、2025年の同国の経済成長率が4.8%を記録したと発表した。主な分野別では、建設業：+15.5%、商業：+9.1%、ホテル・レストラン業：+7.8%を記録した。

〈主要経済指標〉

	2023年	2024年	2025年		2026年
	12月	12月	11月	12月	1月
年間累計インフレ率	5.60%	2.84%	2.17%	2.70%	0.49%
貿易収支（百万ドル）	▲382.9	▲315.9	▲286.3	▲349.2	▲1.3
輸出 FOB（百万ドル）	281.1	352.6	396.9	411.8	742.4
輸入 FOB（百万ドル）	664.0	668.5	683.2	761.1	741.1
海外送金受取額（百万ドル）	420.3	484.4	N.A.	N.A.	N.A.
外貨準備高（百万ドル/期末）	5,447.0	6,105.1	8,006.7	8,324.8	8,593.5

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））